

高齢者・障害者施設情報共有システムの構築

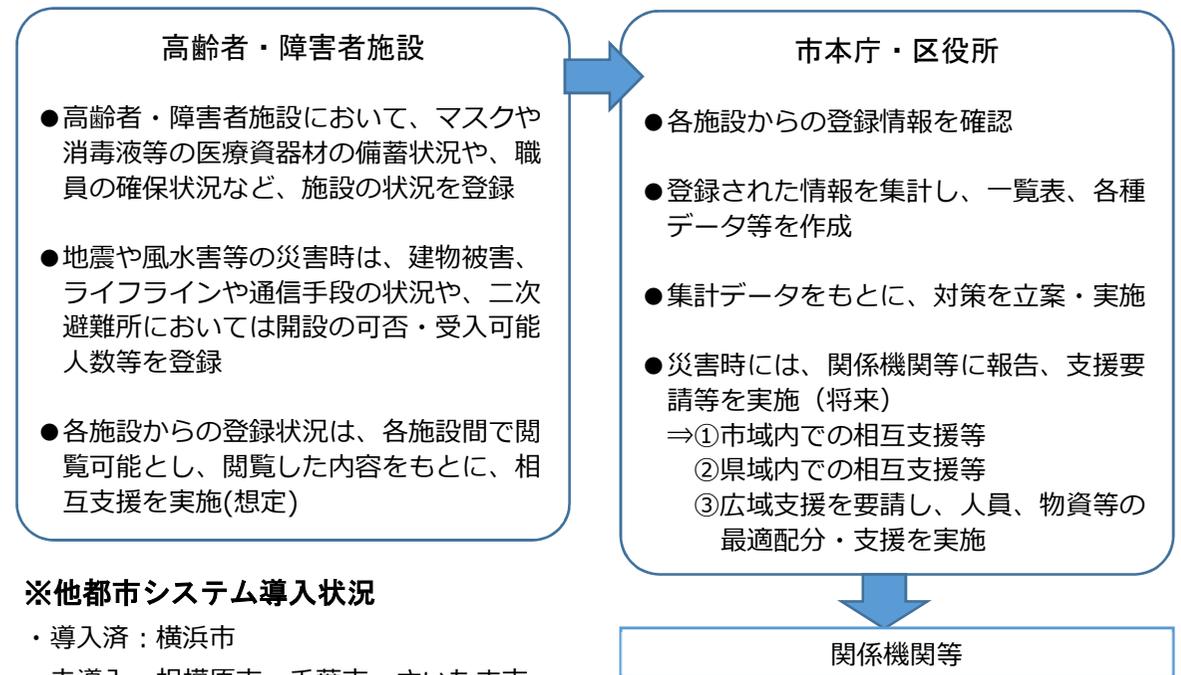
1 経過・概要

- 新型コロナウイルス感染症について、特に高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高く、高齢者・障害者施設でのクラスターの発生が懸念されるが、第1波の際に、マスクや消毒液などの医療資器材が不足。
- 令和元年東日本台風では、各施設の被災状況の把握等に課題を残した。
- このため、令和3年度よりリニューアルされる市総合防災情報システムにおける災害情報共有システムの拡張により、高齢者・障害者施設情報共有システムを構築し、当該施設の被災状況、備蓄物資の管理、関係各所との連絡、状況共有を行うとともに、二次避難所においては、開設の可否や受け入れ可能人数等の管理等を行う。
- 災害時においては、市域における福祉の一元的な調整を担う「(仮)災害時福祉調整本部」にて、本システムを活用し、二次避難所の開設・運営をはじめ、施設への支援や、受援調整等を実施する。

2 接続対象施設

高齢者・障害者施設等

【高齢者・障害者施設情報共有システム】



※他都市システム導入状況

- ・導入済：横浜市
- ・未導入：相模原市、千葉市、さいたま市